

担当教員名	小野詩紀子 佐藤幸代		所属 (学部学科)	国際センター	
実施年度・クォーター	2023 年度 Q3				
授業名	南山	授業名：国際産官学連携 PBL A			
	相手大学	授業名：ノースジョージア大学			
カテゴリ	ベーシック COIL	アカデミック COIL	PBL COIL		
パートナー教員名	Robin O'Day	相手大学	大学名 ノースジョージア大学		
参加学生数	南山	15 人	相手大学	26 人	
双方の教員・学生が一堂に会しての同期型交流	1 回	2 回	3 回以上	なし	
学生同士のための同期型交流	1 回	2 回	3 回以上	なし	
使用言語 (複数回答可)	英語 日本語		その他言語 ()		
使用ツール (複数回答可)	Zoom Facebook LINE Skype YouTube Canvas Email WeChat その他 ()				
交流内容・ (概略)	<p>①1 回目の授業のまえに事前オリエンテーションの回を設けて、双方の教員・学生が一堂に会してオンライン上で交流を行った。目的はその後学生同士のための同期型交流を 2 回行うので、そのグループ分け、アイスブレイク、日程決めであった。</p> <p>②2 回の学生同士のための交流については、各回事前に学生から質問を提出させており、それに対する回答を準備して回答する形で行われた。</p>				
交流期間	3 週間				
評価方法	学生同士のための同期型交流については、各グループ最低 40 分以上交流するように決めた。交流の様子をビデオ録画して、アップロードしてもらい、双方の教員が事後に様子を確認して評価した。また、学生からの評価も得て、双方の教員で交換し、次回の改善につなげられるようにした。				
コメント	<p>①の取組は、学生からも評価が高かった。</p> <p>②の取組も、交流をスムーズにしたが、1 点、グループのサイズが 8 人になる場合もあり、もう少し小さいサイズが良いと学生から声が上がった。次回への課題となった。</p> <p>③南山生からは①②の取組の後も、授業の課題である留学生の就職支援にたいする課題解決に取り組む必要があり、最後の方には②のことを少し忘れてしまう学生も見られた。</p>				